

6月2日（月）第1回ワークショップ ふりかえりシート 記述

ワークショップ参加者：27名 ふりかえりシート回収：24枚

参加者の年代
10代（1名） 30代（3名） 40代（4名） 50代（1名） 60代以上（13名） 不明（2名）
参加者の地区
東地区（4名） 中地区（13名） 北地区（1名） 南地区（2名） 西地区（3名） 不明（1名）

1. 情報提供を聞いて感じたこと、印象に残ったことを書いてください。

- だいたいの市の考え方がわかった。
- 本音で話をしたい（市の方が本音を言っていない）。
- 構想そのものがおかしい→これは取り去る説明でない。やはり、構想本体が思いつきと思う。
- 意見を吸い上げると言いながら、何だか不安というか、市の方針が信頼できにくい。指導性も必要だと思う。
- 場所が問題であるというのはよくわかりました。
- 大変有意義ではありましたが、疑問がいっぱいです。こういうワークショップなどの会合に市長に出ていただきたいと思いました。とにかく複合施設には絶対反対です（公民館などを壊して…）。
- 基本構想、計画策定に理解ができない。
- 同一土地内に小中一貫をどうしてもやるという市の考えだけをきいた。なぜ小中を分けては考えられないのか。
- いろいろな情報が出てきて、内容のあるものだと感じた。
- 予定地の案と、みなさんの案・意見をきいて理想の学校を建てる場所にしては厳しいのかなと思いました。
- どんな学校にしていきたいかということを考えていけばいくほど、現在の候補地ではできないことがはっきりしてきた。それが市はわかっている中でどのような方向に向かおうとしているのかが全くわからなくなり、強い不安を覚えました。
- 4つの候補地に現実味が感じられず、なぜ候補地としてあがったのか疑問に感じました。なぜ小中一貫の必要があるのかがそもそも理解できません。子どもの人数の減少や財政的な理由があって仕方ないことなら、そのように明言してほしい。誰もが納得した上で進めていってほしいと思います。
- 小中一貫、多機能複合化という前提が多度住民の理解を得られていないので、その前提

に立って議論を進めていくことが、非常に難しいと思いました。

- なぜ多度なのか？基本的には反対。複合化ありきで討議しようとするのに責任ある提案は一切なしでやろうとする。問題・デメリットはまるで出さずに不安だけをあおり進めようとするやり方も問題。
- 実際に通うことになる児童・生徒の視点からの考え方が皆無。甘い。行政の都合ばかりで失望した。酷い。
- 候補地の提示もされない中では、話が深まらないと思いました。「白紙」になったのは「センター」だけだったのでしょか？小中一貫校として必要な広さがわかっているのに面積不足の図面では本気さを感じません。
- 先が見えてこない。非常に不安を感じた。もう一度スタートライン、青葉小ができた頃に戻って、再編・統合の議論をすべきだと思う。
- 多度に小中一貫校をつくると言いながら、場所・予算も明確にしないまま住民に候補地を考えさせるのは間違いだと思う。また、出された候補地も市民からいただいたと言って、実現不可能なものを持ってくるとは、どうなのでしょう。怒りを覚えます。本当に多度の子どもたちのことを考えているのか、感じられませんでした（教育長も出てこない）。多度地区市民センターも初めから外すというのはおかしい。市のシンボルとしての庁舎と言って図面もつくりながら、何にも資料に載せるのはおかしい。
- 最初に思ったのですが、こんな大事な話だったので、市長さんの話をききたかった。
- 以前に比べて、少子化などかなり詳しいデータが出されていた。コスト削減の説明は、維持管理費は減っても、大規模施設にする為のコスト増大が考慮されていない。（スクールバス・教員の増員・警備員など）
- 過去の説明会等より、進展していないなあと感じた。桑名市より、候補地情報詳細提示ください。
- いろいろ大変と思います。

2. グループワークを終えて、今日の内容を受けてのご感想を書いてください。

- 一貫校には反対の方が多い。
- みなさんから一般的な話が出て、皆が同じ考えと思った。
- 構想への反対が多いのが再確認できた。小学校の再編・統合をまじめに議論してほしい。
- 参加者の本音がきけてよかったが、市からみて「ワークショップ」をしたよ。ということ勝手に使いすぎないようにしてほしい。市の方針がみえないので、と再度訴えたい。
- 必死に考えている住民と、少し他人事と思っている人（今日のような場所に参加しない人）との差がとてもある。
- 小学校の統合だけでいいと思いました。

- 皆さんの色々な意見をきけてよかった。一貫校の場所が問題であるが4案が無理と思うが、どう対応するのか。
- 地域の方の強い思いを感じました。ここに丁寧に向き合うことが、丁寧に学校を閉じるということなんでしょうね。やはりまだまだ「そもそも…」の意見は多くあり、その部分が皆さん落ちないと進んではいけないなと感じました。小学校統合ではなぜいけないのかという思いは多くの方の心にあると思います。そこにできる限りの説明と、そして「小学校のみの統合」という可能性があるのか。ないのであればそこはハッキリと伝えていかないと進まないと思います。「小中一貫校」か「いまのまま複式」の選択肢しかないなら、どちらかに動き出すのではないのでしょうか。まだまだ先は長いなーと感じました。
- グループワーク自体内容があり、前向きに対応できる内容であった。
- 皆さんの考えはもっともだと思います。理想通りのものを建てるのは難しいと思います。子どものことを考えて建ててほしいです。
- 現実的でない候補地の中で、学校をつくっていく話をするのはできない。市の方向性が見えてこない。
- 構想が壮大すぎて、目の前にある児童減少、複式解消の解決に程遠いように感じました。間に合わないという危機感が募りました。両輪で進めていく必要も感じました。
- 少しは言いたいこと言えた（かもしれない）。進行の2名が頑張ってくれた。果たして今日出た意見が平等に反映されるのかは不安を感じた。
- 住民の有志を集めて意見を直接聞けるワークショップに、市長は足を運ぶべきです。すでに腹案があるのなら（スケジュールをきいて、そう感じます）、形式だけのワークショップとならないよう、直接対話を要求します。
- 60億～70億の事業をするのであるのだから、建設場所がまずはっきりしていないと話にならない。多度のまちを本当によくしたいのだろうか。桑名市の財政の立て直しに多度が利用されている思いがする。
- グループの話は皆さん自分の意見をはっきり書けたと思います。私たちのグループは皆さん立派な意見を言われたと思います。
- 様々な人と同時に話せたのはよかった。しかし、このまま、まとまるのかも見通せない。市の方も、施設一体型小中一貫校が、コスト削減の目玉というのは、少し違うと思う。理想的な小中一貫教育の実現には、子どもたちに投資するという視点でこの事業が進められなければいけない。
- 小中一貫OKだが、複合化は反対。
- 市が本当に多度の小中一貫校をつくろうかといったものが感じられない。住民は何も望んでいない。小中一貫校より、小学校の再編・統合を望んでいると思います。

3. 次回以降のワークショップの進め方について、意見があればお書きください。

- これはやめて、説明会で意見を求めてください。
- 丁寧な説明がほしい。
- このままで前に進むか？
- 構想ありきでワークショップを進行しても前に進まない。市長・教育長は住民の声をききにくるべき。
- 責任ある人の参加を望む。
- また、参加したいと思っています。
- 子どもたちの意見も必要だと思っています。
- 色々な意見を汲み取る場にしてほしい。
- 小中一貫校をつくるという話にこだわりすぎず、住民の意見を幅広く真摯にきくべきではないか。
- 多度中小と多度中、小山地区では、どれくらい土地買収で広げられる可能性があるのか。そこがわからないと次の議論ができないのではないのでしょうか。
- 責任ある提案をしながら、意見をきくべき。
- 統合反対の意見が数多くある現状であり、統合解消の選択肢も視野に入れた議論にしていきたい。
- 司会の方、うまく進められていました。厳しい立場ですが、勇気を出して上層部の方に物申してもらいたいです。
- 次回ワークショップでは、複合化施設について議論必要。